

第48回甲賀市入札監視委員会の結果について

第48回甲賀市入札監視委員会が開催され、その審議結果及び概要は以下のとおりです。

1. 開催日

令和3年2月2日（火） 13時58分から16時30分まで

2. 開催場所

甲賀市役所 3階 会議室301A

3. 出席委員 委員長 中島宏三、池本悦子、岡村寿昭、中村正哉、吉川英治
事務局職員 総務部理事 山元正浩、同次長 藤田文義
管財課長 三日月利安、同課長補佐 中村隆博、同係長 方山淳

4. 市民憲章唱和

5. あいさつ（中島委員長）

6. 発注工事等の説明（事務局）

7. 審議案件

①審査対象

- ・入札期間 令和2年 8月 1日 から 令和2年11月30日
- ・落札件数 工事25件、委託8件、物品5件
- ・金額 契約金額1,000万円を超えるもの（共通3種別）

②抽出事案と審議結果

抽出事案5件の入札及び契約手続きの運用状況等の審議結果については、適正と判断されました。なお以下のとおり検討事項としての意見が付されました。

・令和2年度 第57号 大原小学校外屋上防水改修工事

（意見）入札不調の2件を合わせての入札である。1件は応札なし、1件は低額失格であった。同種の工事の入札については今回の結果を分析し今後の入札に活かしてほしい。

・令和2年度 第107号 市営住宅竜が丘団地外壁等改修工事

（意見）不落随意契約への移行の際、見積徴取先の選定、仕切り直し等の方法を透明化する必要がある、以前から指摘していたガイドラインを速やかに作成されたい。

・令和2年度第41号 植地区外配給水管布設替工事

(意見) 土木工事の基本に関するところで、数量、金抜き設計書の仕様書公表により積算する業者の応札額には価格差がないと説明があったが、入札結果では失格業者が多数出ていることから、同種工事の落札業者の入札結果の統計を取って注視する必要がある。

・令和2年度第318号 野洲川上水道取水施設撤去検討業務委託

(意見) 専門的な業務委託であることから、設計書を作成する前段階の仕様書作成、見積徴取時における業者選考のプロセスを明確にしておく必要があり、完了検査の実効性に十分留意されたい。

・令和2年度第50号 甲賀市学習者用コンピュータ購入

(意見) 特に意見なし。

8. 指名停止の状況報告

当該期間の指名停止案件はありません。

9. その他

・「入札中止と入札取止め」の取り扱いについて

- ・事例1：入札公告から入札開札までの間で、設計違算が発覚した場合、「入札中止」。
- ・事例2：入札開札後、再度の入札を行い「予定価格に達しなかった」場合、「取止め」。
- ・事例3：入札開札後、「全者が最低制限価格を下回った」場合、「取止め」。
- ・事例4：入札開札後、「入札参加者がいなかった」場合、「取止め」。
- ・事例5：入札公告から入札開札前までの入札執行経過の場合、「入札中止」。
- ・事例6：入札公告から入札開札後の入札執行経過の場合、「取止め」。

開札後の設計違算は「取止め」とする。

・委員会市長報告（前回の報告からの検討対応）について

令和元年度報告に記載した指摘事項等については、前回の市長報告後から現在までの2年間で市はどのように検討、対応したのかを明確にする必要があり、今回の報告書に記載するものとする。

・委員の任期（退任）について

今年度3月末の任期をもって、2名の委員の方が退任される。
中島宏三委員長、池本悦子委員

10. 閉会

あいさつ（山元理事）